



みんなで取り組む
千葉の教育

県教委 NEWS

Vol.323

12月-2号

〔発行者〕千葉県教育庁企画管理部教育政策課
〒260-8662 千葉市中央区市場町 1-1
電話 043-223-4015

令和5年12月発行

新しい千葉の未来を切り開く「教育立県ちば」を実現する有識者会議

第4期千葉県教育振興基本計画の策定に向けて、大学教授等の有識者・専門家から意見を伺う「新しい千葉の未来を切り開く『教育立県ちば』を実現する有識者会議」の第1回会議を令和5年11月9日（木）に開催しました。

会議では、熊谷知事のビデオメッセージ、教育長挨拶に続き、各委員からはご自身の教育に関する考えや今後の本県教育のあり方等について意見をいただきました。



1 委員（9名）

あしざわなおたろう 芦澤直太郎委員、いけだみちこ 池田三知子委員、いわもとゆう 岩本悠委員（欠席）、おやまよしのり 小山義徳委員、くにみあき 國見亜妃委員
こみやまともよし 小宮山伴与志委員（座長）、なかがわひとし 中川一史委員、ひらたしろう 平田史郎委員、むくのひかる 向野光委員（副座長）

2 委員の主な意見

- 「主体的に学ぶ」とあるが「主体的に」とは何か。教えることと教わることのバランスを含めて、新たな視点が必要ではないか。「主体的に学ぶ」という言葉が独り歩きし、本来求められている姿が不透明になっており、具体的に示していく必要があるのではないか。
- ICTの有効性を生かす環境としての仕組みづくりや、その研修、発信の更なる充実を求めたい。
- 未知の課題を自ら見つけ、その解決のために新たな価値を創造する力が求められている。
- 未来の新しいビジネス、新しい会社を自分たちで立ち上げようとする起業家に興味関心をもってほしい。
- 千葉らしさのある教員の働き方改革を目指してもらいたい。千葉県で教えたい、他県から志望者が来るような教育環境・就業環境を整えてもらいたい。
- 働き方改革が進む中で、もっとやりたいという教員は一定数いる。経済界でも同じであるが、働き方改革が政策課題の一つになっており、ジレンマを感じている経営者や企業人はいる。
- コミュニティスクール導入による変容や導入が進んでいる地域等の、要因分析や実態の掘り下げがあると、今後の採るべき方策が見えてくるのではないか。
- 特別支援教育については、令和元年から大学の教職課程で必修となり、理解が広がっている。より暮らしやすい共生社会の実現に向けた千葉県らしい教育を形作ってほしい。
- 計画策定においては、一般的な意見も大切であるが、声なき声を聴こうと努めたり、アンケートの否定的な意見を分析したりすることも大事である。

※本有識者会議に関するホームページ

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/seisaku/atarasiichiba-yuusikisya/plan4index.html>

お問い合わせ先：企画管理部教育政策課 電話：043-223-4177